



裏磐梯エコツーリズムカレッジ特別講義（第2回）

「森が癒してくれる～エコツーリズムとしての森林療法」

～裏磐梯の森は、癒しや医療の場としてどのような可能性をもっているのでしょうか～

- ◇日時 2006年2月23日（木） 14：00～16：00 （開場 13：30）
- ◇会場 北塩原村自然環境活用センター
- ◇対象 ガイド、宿オーナー、カレッジ受講生、行政職員、医療関係者、住民の皆さん
- ◇主催 会津地域雇用機会増大促進支援協議会
- ◇主管 北塩原村 裏磐梯エコツーリズム推進協議会
- ◇問合せ先 北塩原村観光政策課 （0241-32-2511 担当：遠藤）
- ◇参加費 無料

裏磐梯には、森歩きを求めて多くの方が訪れます。しかし、人の健康や病気、心に対して森が与えてくれる効果については、これまで感覚的に理解されるにとどまっていた。最近になってようやく科学的な実証が進み、「森は癒しの場」であることが明らかになって来ました。‘森林療法’が医学の一つの領域になりつつあります。

森の効果や、森林療法に適した森の調査の最前線に立つ（独）森林総合研究所環境計画室長の香川さんをお招きし、森の癒し効果やエコツアープログラムとしての可能性等についてお話をうかがいます。森林療法を進めるために一番難しいのは「ルートの確保」だとか。80km のトレッキングルートをもっている裏磐梯は森林療法の場として大きな可能性を秘めているのではないのでしょうか。

講師：香川隆英さん【（独）森林総合研究所環境計画室長】

京都大学農学部修了（造園学専攻）。農林水産省入省、人事院を経て、現在森林総合研究所環境計画研究室室長を務める。専門は森林景観計画、森林アメニティ論、森林セラピー等。



◇森林のアメニティの解析に関する研究◇

『環境保全と農林業』（朝倉書店）、『ランドスケープエコロジー』（技報堂出版）、
『2020年日本の森林、木材、山村はこうなる』（（社）全国林業改良普及協会）

◇森林の公益的機能の評価に関する研究◇

『森林の保健休養機能 -森林の公益機能解説シリーズ⑩-』（（社）日本治山治水協会）、『保安林制度百年史』（（社）日本治山治水協会）、『森林の役割評価とその適正配置』（財）林業科学技術振興所

◇フォレストスケープ（森林景観）のデザインに関する研究◇

『フォレストスケープ』（（社）全国林業改良普及協会）、『ランドスケープデザイン』（マルモ出版）、『続・森林の100不思議』、『里山を考える101のヒント』（東京書籍）

◇森林セラピー◇

『森林医学』 発刊予定 等。

北塩原村観光政策課あて 裏磐梯エコツーリズムカレッジ第2回特別講義受講申込書

平成 年 月 日

FAX：0241-32-3152 このままFAXして頂くか、北塩原村観光政策課または、本庁、桧原出張所までお持ちください。

なお、電話でも受付しておりますので、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

| | | |
|------|--|--|
| お名前 | | カレッジメンバーリングリストに登録を希望される方は、メールアドレスをご記入ください () |
| ご住所 | | |
| ご連絡先 | | |
| ご所属 | | |